
子どもに語り伝えたいこと

卯田手石

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

子どもに語り伝えたいこと

【Nコード】

N9786Y

【作者名】

卯田手石

【あらすじ】

昔、聴いた話や考えた話です。お風呂や布団の中で子どもに……。

ももたろう

昔々、あるところにお爺さんとお婆さんが二人っきりで住んでおりました。

お爺さんは山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行くのが日課でした。

ある日、早々に山から帰ってきたお爺さんが家で寛いでいると、お婆さんが大きな桃を抱えて帰ってきました。なんでも上流から流れてきたのだそうです。

お爺さんは大喜びで桃を切る準備を始めました。ところが、食いしん坊のお婆さんは、桃を独り占めしたくなってお爺さんのお茶に即効性の眠り薬を入れたのでした。

お茶を飲んで急激な睡魔に教われたお爺さんは、最後の力を振り絞ってお婆さんに言いました。

「も、盛ったろ……」

ももたろう あなざー

昔々、あるところにお爺さんとお婆さんが一人の男の子と住んで
おりました。

お爺さんは山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行くのが日課で
した。

今日は男の子の六歳の誕生日です。男の子は朝から慌ただしくし
ています。なぜなら、今日から一人で山へ行くことが許されるから
でした。お爺さんとお婆さんは、忙しく山デビューの準備をしてい
る男の子を微笑ましく見守っていました。

やがて準備が整い、男の子は戸口で最終確認を受けています。

「大丈夫かい」

「大丈夫だよ」

「忘れ物はないかい鉈は？ 弁当は？ 傷薬は？」

「も、持つたるー」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9786y/>

子どもに語り伝えたいこと

2011年11月29日16時45分発行